



大平洋金属株式会社
2017年3月期 期末決算説明会

2017年5月18日

お問合せ先：総務部(IR担当) 03-3201-6681

ホームページ：<http://www.pacific-metals.co.jp>

I. 17.3期 決算実績	
1. 期末決算実績	4
2. 国別販売実績	5
3. 連結経常損益分析	6
II. ニッケル需給について	
1. LMEニッケル価格・ニッケル在庫数量の推移	8
2. 世界のステンレス生産とニッケル需給見通し	9
3. 地域別ステンレス生産とニッケル需給見通し	10
4. NPI生産の動向	11
III. 18.3期 決算見通し	
1. 決算見通し	13
2. 国別販売見通し	14
3. 連結経常損益分析	15
IV. 経営課題への取り組み	
1. 足許の事業環境	17
2. 中期経営計画「PAMCO-30」の活動状況	19
3. ESGへの取り組み状況	21
【参考データ】中期経営計画「PAMCO-30」と実績値(見通し値)との比較	22

I 17.3期 決算実績

1. 期末決算実績

【概要】

(単位:百万円、%)

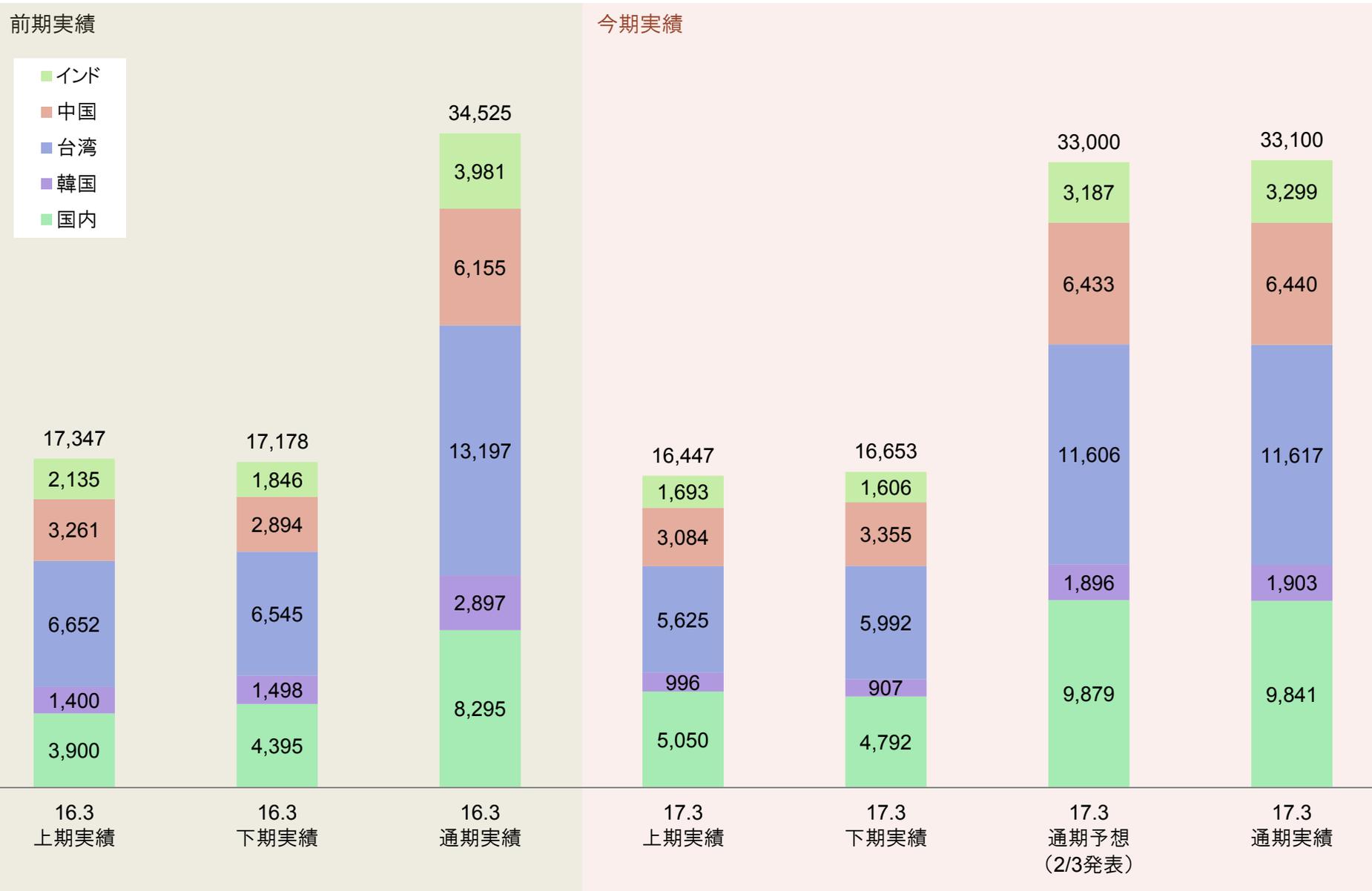
	16.3実績		17.3予想 (2/3発表)		17.3実績		対 前期比	対 2/3発表 予想比
	金額	利益率	金額	利益率	金額	利益率		
売上高	47,649	—	38,214	—	38,697	—	△18.8	1.3
営業利益	△15,358	△32.2	△3,624	△9.5	△3,070	△7.9	—	—
経常利益	△12,284	△25.8	△1,580	△4.1	△516	△1.3	—	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	△38,370	△80.5	△2,380	△6.2	△3,562	△9.2	—	—
(投資額)	1,086	—	—	—	255	—	△76.5	—
(減価償却費)	5,538	—	—	—	376	—	△93.2	—

【ニッケル事業】

	16.3実績	17.3予想 (2/3発表)	17.3実績	対 前期比 (単位:%)	対 2/3発表 予想比 (単位:%)
生産数量(Niトン)	36,692	32,897	33,101	△9.8	0.6
販売数量(Niトン)	34,525	33,000	33,100	△4.1	0.3
適用LME(\$/トン)	10,803	10,009	9,877	△8.6	△1.3
[適用LME(\$/lb)]	[4.90]	[4.54]	[4.48]		
適用為替(¥/\$)	119.97	106.83	108.64	△9.4	1.7

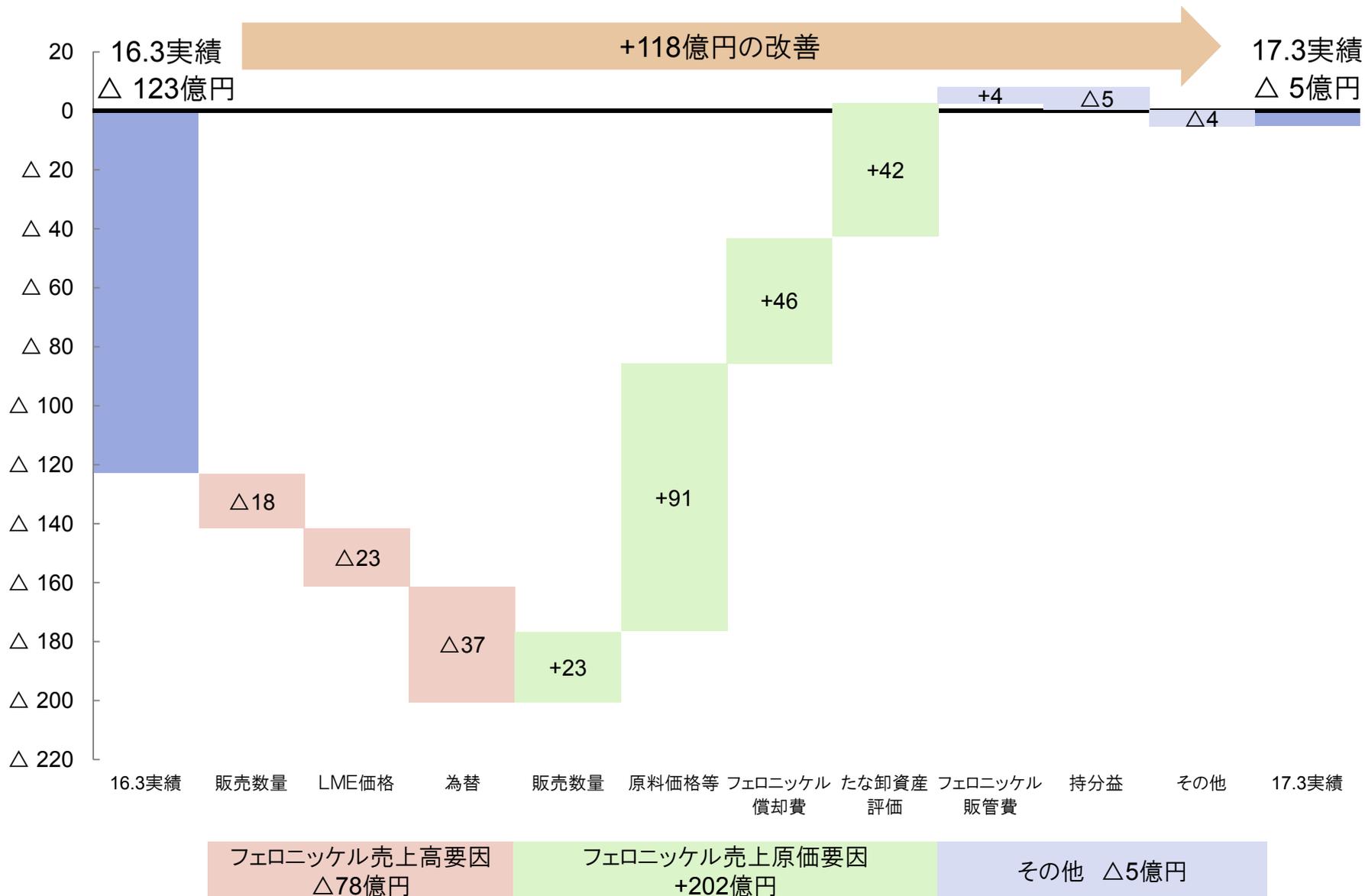
2. 国別販売実績

(単位: Niトン)



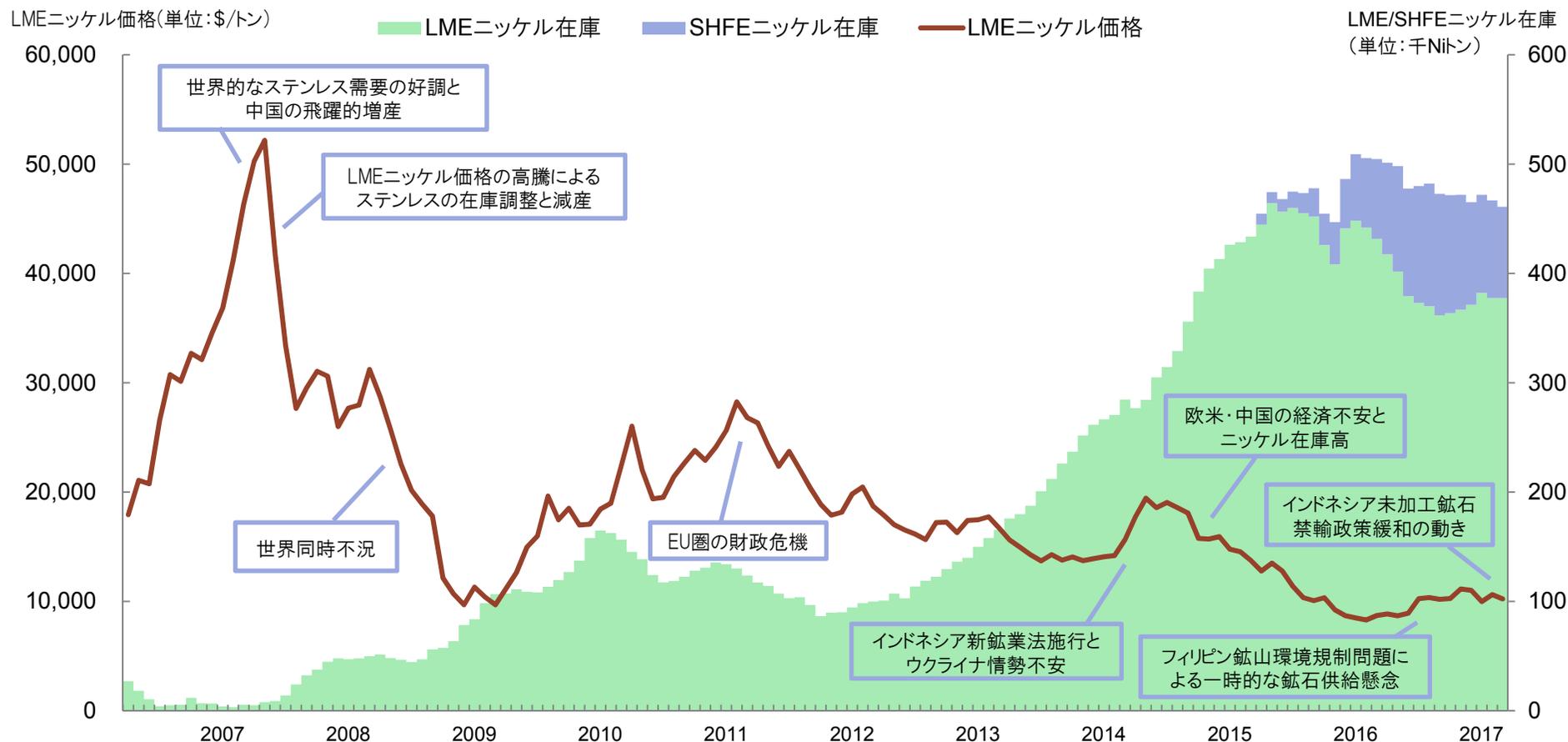
3. 連結経常損益分析

(単位: 億円)



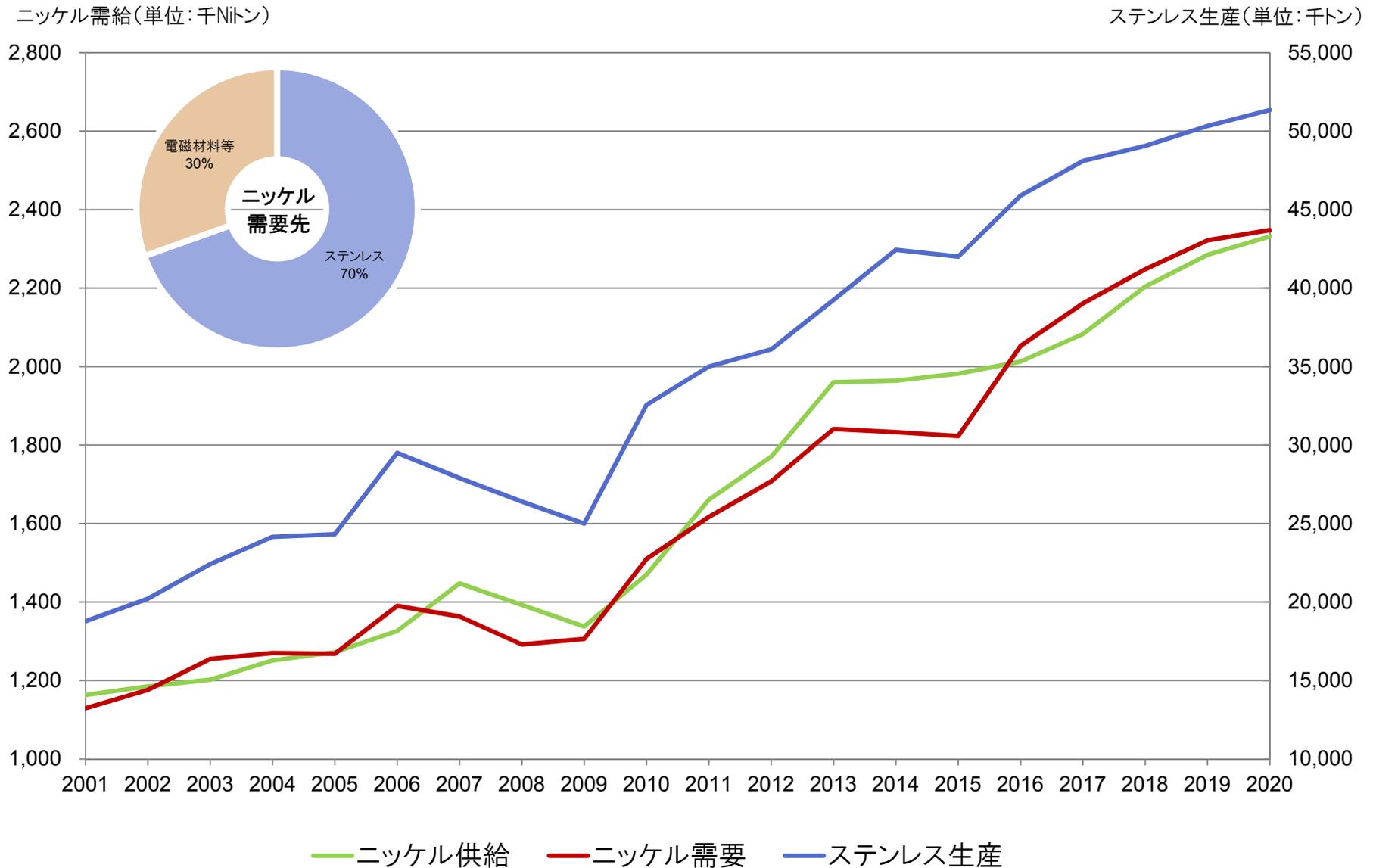
Ⅱ ニッケル需給について

1. LMEニッケル価格・ニッケル在庫数量の推移



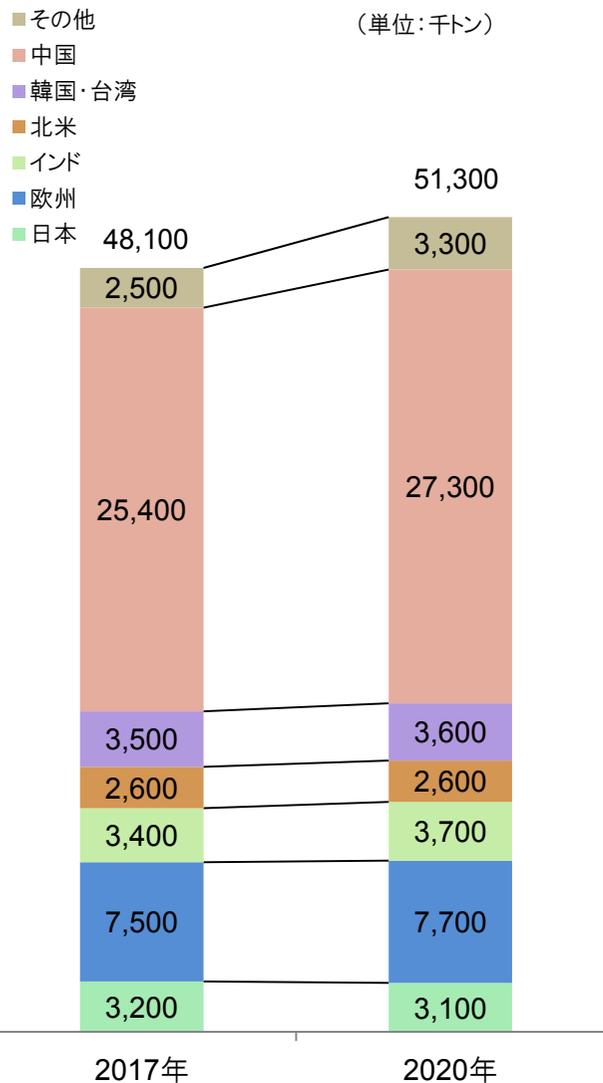
業績の推移	07.3	08.3	09.3	10.3	11.3	12.3	13.3	14.3	15.3	16.3	17.3
売上高 (百万円)	100,283	116,420	72,976	58,490	74,786	48,330	58,489	56,408	61,225	47,649	38,697
営業利益 (百万円)	44,455	52,251	16,169	11,774	18,495	154	2,168	△4,080	△7,788	△15,358	△3,070
経常利益 (百万円)	45,716	56,315	18,388	13,441	20,768	3,524	4,921	△1,839	△92	△12,284	△516

2. 世界のステンレス生産とニッケル需給見通し

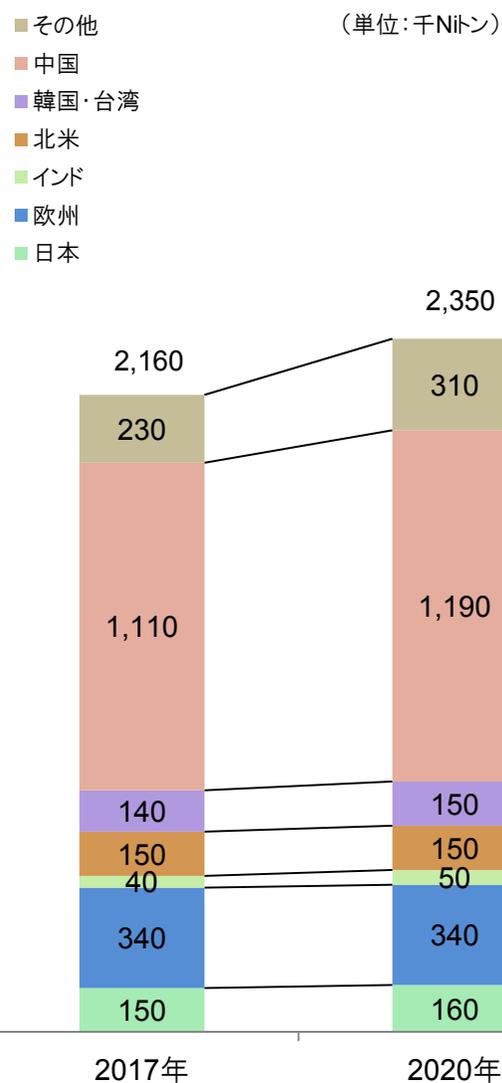


3. 地域別ステンレス生産とニッケル需給見通し

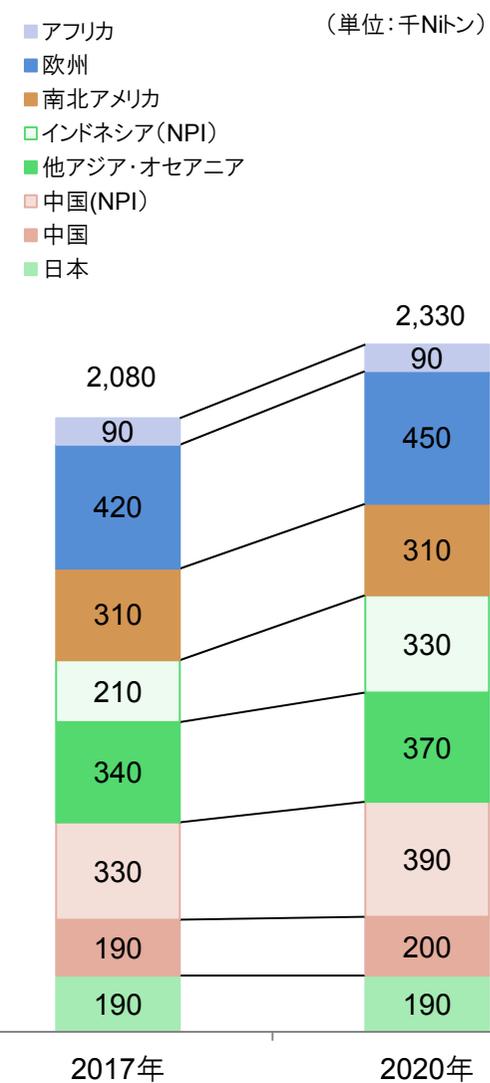
ステンレス生産見通し



ニッケル需要見通し

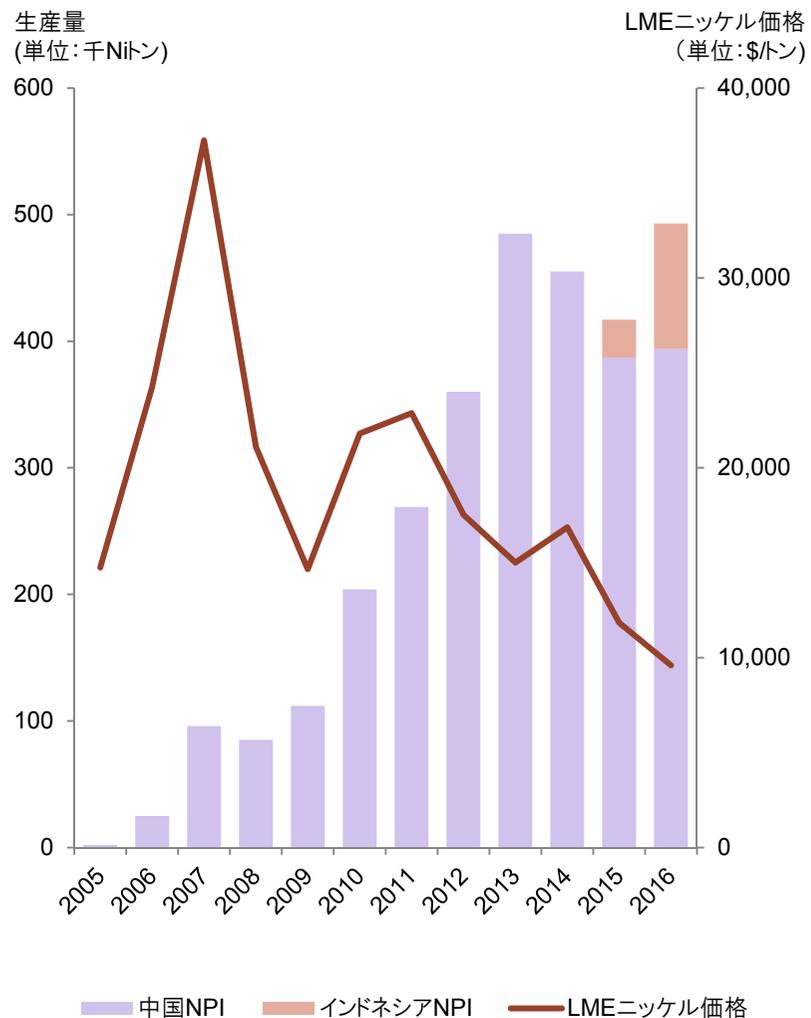


ニッケル供給見通し

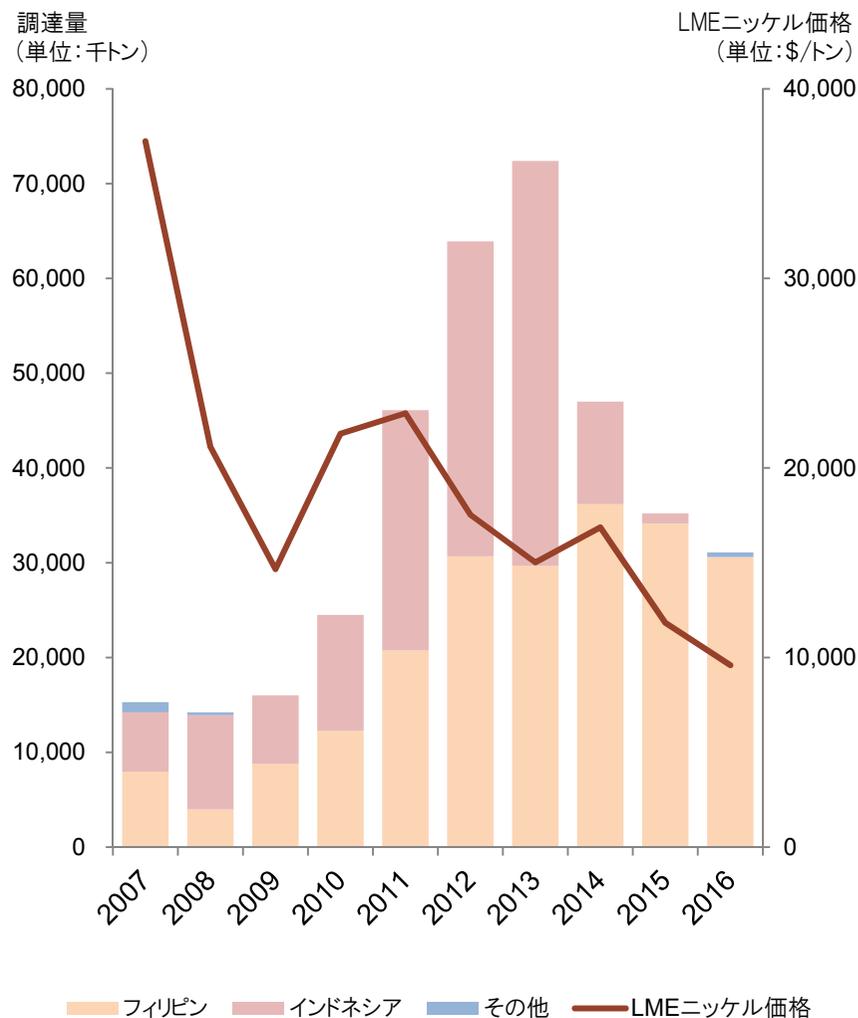


4. NPI生産の動向

NPI生産量の推移



中国のNi鉱石調達量の推移



Ⅲ 18.3期 決算見通し

1. 決算見通し

【概要】

(単位:百万円、%)

	17.3実績		18.3予想		対 前期比
	金額	利益率	金額	利益率	
売上高	38,697	—	45,695	—	18.1
営業利益	△3,070	△7.9	△6,476	△14.2	—
経常利益	△516	△1.3	△4,422	△9.7	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	△3,562	△9.2	△4,624	△10.1	—
(投資額)	255	—	722	—	183.1
(減価償却費)	376	—	349	—	△7.2

【ニッケル事業】

	17.3実績			18.3予想			対 前期比 (単位:%)
	上期実績	下期実績	通期実績	上期予想	下期予想	通期予想	
生産数量(Niトン)	16,425	16,676	33,101	17,755	17,137	34,892	5.4
販売数量(Niトン)	16,447	16,653	33,100	17,450	17,550	35,000	5.7
適用LME(\$/トン)	9,193	10,538	9,877	10,869	11,023	10,957	10.9
[適用LME(\$/lb)]	[4.17]	[4.78]	[4.48]	[4.93]	[5.00]	[4.97]	
適用為替(¥/\$)	107.18	110.08	108.64	110.11	109.65	109.88	1.1

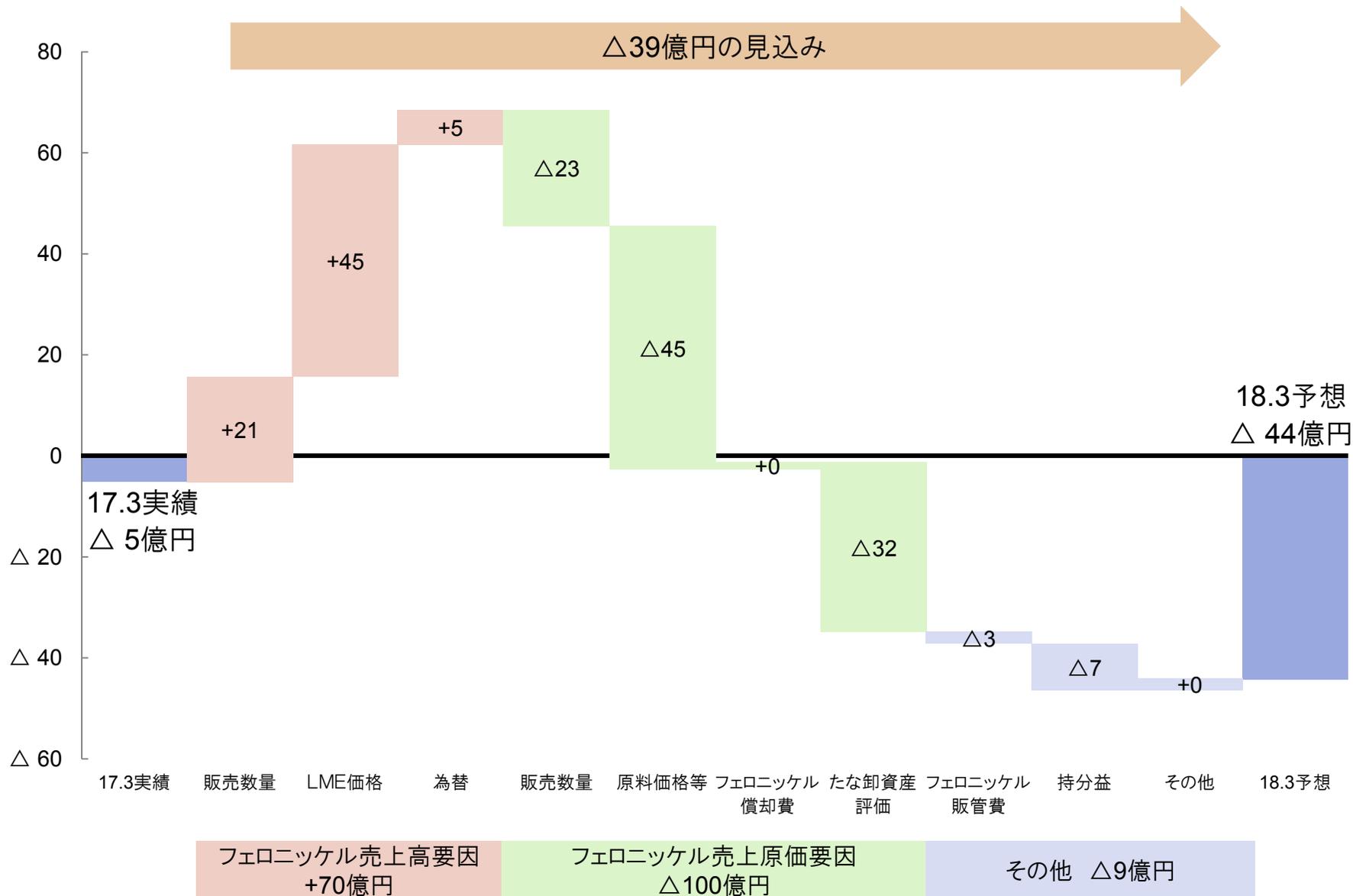
2. 国別販売見通し

(単位: Niトン)



2. 連結経常損益分析

(単位: 億円)



IV 経営課題への取り組み

1. 足許の事業環境①



1. 足許の事業環境②

ニッケル鉱石の採掘

鉱山会社



当社の強み

資源国からの信頼

外部環境の変化

資源ナショナリズムの影響

フェロニッケルの生産

当社



当社の強み

優れた工場立地
高効率な生産・販売
長年の生産実績
優れた環境保全・安全管理
優れた財務状況

外部環境の変化

鉱石品位低下傾向による
生産体制への影響等

フェロニッケルの販売

ステンレスメーカー



当社の強み

顧客からの信頼
長年の販売実績

外部環境の変化

ニッケル市況の影響

2. 中期経営計画「PAMCO-30」の活動状況①

主な重点施策①:

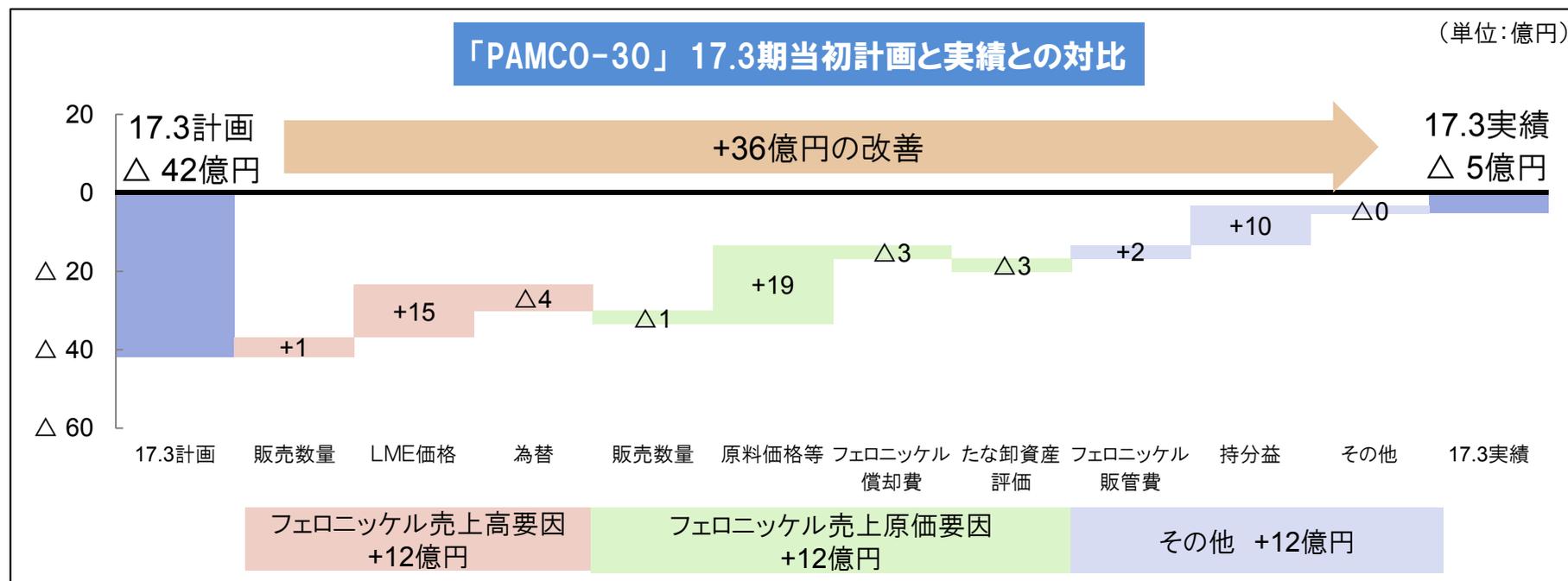
フェロニッケルの生産・販売施策の強化

- ・高効率操業 ・最適な生産量
- ・市場立地を活かした販売活動 ・高品質供給等を着実に実施

主な重点施策②:

収益性の強化

- ・省エネ活動 ・物流コスト合理化 ・諸経費圧縮等、ワーキンググループによる専門的活動を実施



**事業環境低迷の中、これらの活動を着実にを行い36億円の収益改善
今期も環境急変対応の基盤固めをさらに推進させる**

2. 中期経営計画「PAMCO-30」の活動状況②

主な重点施策③:

ニッケル資源調達安定化

・刻々と変化する資源ナショナリズムの流れに機動的に対応

フィリピン

- ・ 鉱業環境規制厳格化と鉱山操業停止の激動の中で、大きな影響なく鉱石調達先確保
- ・ 今後とも緊急対応が可能な体制維持に努める

インドネシア

- ・ 2014年1月 未加工鉱石輸出全面禁止処置
- ・ 2017年 鉱石輸出禁止緩和の可能性大
- ・ 情報収集継続で輸出解禁迅速対応体制

ニューカレドニア

- ・ 資源ナショナリズムの影響があるものの、メインソースの一つとして調達量増加に邁進

新規ソース

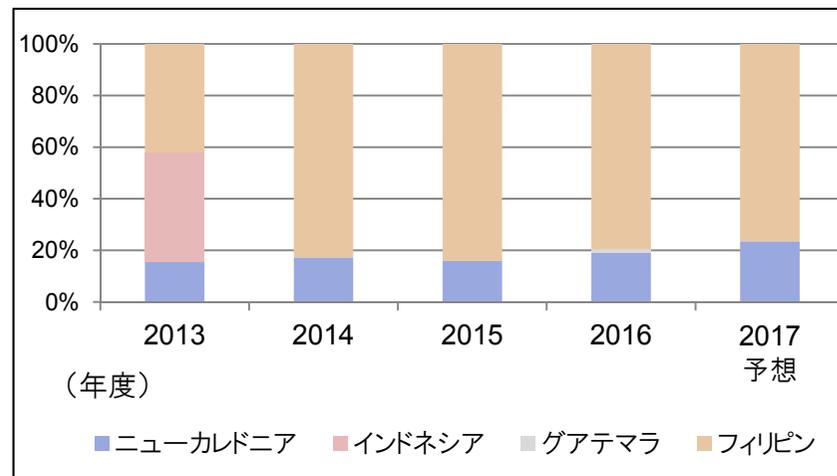
- ・ 鉱石価格高止まりへの一つの対応策として、今後とも調達先の多角化推進

引き続きニッケル鉱石の安定調達へ

鉱石長期購入契約の状況

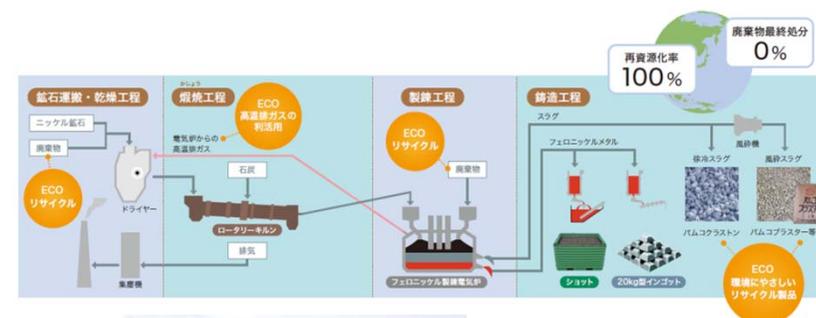
購入先	16.3	17.3	18.3	19.3	20.3
<フィリピン> リオ・チバ社(36%出資)	2016年1月～2020年12月(5年間)				
<フィリピン> タガニート社(33.5%出資)	2016年1月～2020年12月(5年間)				
<フィリピン> カグジャナオ社	2016年1月～2020年12月(5年間)				
<ニューカレドニア> モンタニア社	2016年4月～2026年3月(10年間)				
<ニューカレドニア> MKM社	2014年1月～2023年12月(10年間)				

鉱石調達割合の動向



3. ESGへの取り組み状況

<p>環境 Environment</p>	<p>環境に配慮した製造プロセス</p> <ul style="list-style-type: none"> 資源の再利用による高エネルギー効率のフェロニッケル製造工程 スラッグの高度リサイクル製品化による再資源化率100% 大気汚染物質の排出削減、排水再利用による環境負荷低減
<p>社会 Society</p>	<p>地域社会とのコミュニケーション</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域社会への貢献 地域イベントへの参加 地域の清掃活動 工場周辺の清掃活動
<p>ガバナンス Governance</p>	<p>ガバナンス体制のさらなる強化へ</p> <ul style="list-style-type: none"> コーポレートガバナンス・コードを意識した事業経営 品質、環境、労働安全衛生に関して統合マネジメントシステム(IMS)として統合・運用 リスクマネジメント体制の整備



参考資料

- 「環境・社会報告書2016」
<http://www.pacific-metals.co.jp/environment/report.php>
- 「コーポレートガバナンスに関する基本方針」および「コーポレート・ガバナンス報告書」
<http://www.pacific-metals.co.jp/ir/governance.php>

ESGへの取り組みも経営に関する重要課題と認識

計画値		PAMCO-30 17.3計画	PAMCO-30 18.3計画	PAMCO-30 19.3計画
	生産数量(Niトン)	32,885	34,893	37,270
	販売数量(Niトン)	33,000	35,000	37,000
	適用LME(\$/トン)[\$/lb.]	9,722 [4.41]	12,037 [5.46]	14,132 [6.41]
	適用為替(¥/\$)	109.90	118.82	119.48
	売上高(百万円)	37,525	52,065	65,607
	営業利益(百万円)	△5,792	△1,800	2,541
	経常利益(百万円)	△4,181	552	5,964
	親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	△4,382	192	5,286
	投資額(百万円)	920	1,997	2,712
減価償却費(百万円)	394	409	559	
実績値(見通し値)		17.3実績	18.3見通し (5/11発表)	19.3実績
	生産数量(Niトン)	33,101	34,892	
	販売数量(Niトン)	33,100	35,000	
	適用LME(\$/トン)[\$/lb.]	9,877 [4.48]	10,957 [4.97]	
	適用為替(¥/\$)	108.64	109.88	
	売上高(百万円)	38,697	45,695	
	営業利益(百万円)	△3,070	△6,476	
	経常利益(百万円)	△516	△4,422	
	親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	△3,562	△4,624	
	投資額(百万円)	255	722	
減価償却費(百万円)	376	349		

大平洋金属株式会社



本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。

また、本資料に記載されている将来の予想等については、現時点で入手された情報に基づくものであり、今後、発生する状況の変化により実際と異なる結果となることがあります。従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控えくださいますようお願いいたします。

本資料を利用した結果として生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

本資料に関する著作権、商標権その他すべての知的財産権は、当社に帰属します。